

# 1 県の施策に関する提案

【奨励賞】 障害者雇用企業からの物品調達の優遇制度	
提案者：障害福祉課 副参事 坂本 達保	
提 案 内 容	表 彰 理 由
<p>県の物品調達に当たって、障害者を多数雇用する企業に対し、優遇措置を講じ、障害者の就労促進を図る。</p> <p>法定雇用率の一定割合（1.5%～2%）以上の障害者を雇用している事業所等（障害者多数雇用企業）を対象に、</p> <p>①随意契約により物品を調達する場合には、障害者多数雇用企業を他の者に優先して選定する。</p> <p>②指名競争入札により物品を調達する場合には、障害者多数雇用企業を優先して指名する。</p>	<p>北海道、富山県、長野県など他県でも、多く行われている施策ではあるが、この提案の実現により、県が目指す企業における障害者雇用の促進が期待できる。</p> <p>（会計第二課においては、検討の意向を示している。）</p> <p>（参考：本県の障害者雇用率1.48%、全国第38位、法定雇用率1.8%）</p>

【奨励賞】 歳入確保策の提案	
提案者：農地整備課 係長 石井 好之	
提 案 内 容	表 彰 理 由
<p>様々な歳入確保策を講じることで、県財政の未曾有の危機的状況の回避の一助とする。</p> <p>①県有施設における有料広告媒体の配置スペースの設置（県庁舎、近代美術館、自然博物館、県立図書館、大洗水族館、県民文化センターなど）</p> <p>②県庁舎内の有料広告スペースの設置（エレベーターホールの一角やエレベーター内）や25階スペースの民間への貸付け、厚生棟の積極的な外部開放</p> <p>③印刷物や自動車納税通知書封筒などへの広告掲載</p> <p>④出先機関等の空きスペースのNPO等に対する低額貸付け</p> <p>⑤各課所の死蔵状態となっている書籍類の一括処分（古書店への売却等）</p> <p>⑥県民や県出身者及び縁故者等からの寄付金による基金を創設する。寄付者に対しては、金額に応じ県有施設の招待券の配付など優遇方法を検討する。</p>	<p>県の財政状況を鑑み、幅広く歳入向上策の提案が盛り込まれており、県庁舎における有料広告スペースの設置や印刷物や自動車納税通知書封筒などへの広告掲載といった実施可能性・効果性も高い具体的な収入確保策を例示している。</p> <p>また、寄付金の積極的受入れによる基金の創設といった、今後検討すべき案件についての提案もなされている。</p>

【奨励賞】 固定資産共同評価室の設置について	
提案者：県南地方総合事務所農政課地域農業振興室 室長 星野 博夫	
提 案 内 容	表 彰 理 由
<p>市町村と分担して実施している新築家屋の評価事務を、各県税事務所単位の共同評価室で実施する。</p> <p>評価室は県職員及び市町村職員を構成員とし、県及び市町村の再任用職員も採用する。（分担評価を実施する前の現在50歳以上の職員は、木造・非木造家屋とも評価経験がある）</p>	<p>評価事務の効率的な執行、評価事務担当者の技術向上等が期待できるとともに、熟練経験者の有効な活用が図れる。</p>

※ 最優秀賞・優秀賞：該当なし

## 2 業務や事務の改善等に関する提案

【奨励賞】電気保安に関する報告の電子決裁化	
提案者：管財課 主任 藤本 岳大	
提案内容	表彰理由
毎月1回、県有の各101施設から紙書類により、報告を受けている受変電施設の日常業務日誌等の保安情報について、総合文書管理システムの活用による電子化を図り、業務の効率化及び文書の保存体制の強化を図る。	紙文書の削減、紛失防止などの効果や業務の効率化が図れるとともに、業務の電子化の一例として他業務への波及が見込める。

【奨励賞】印刷テクニックに関する周知について	
提案者：情報政策課 主事 鈴木 利光	
提案内容	表彰理由
ミスプリントやムダな紙の使用を減少させるため、印刷時に便利なテクニックを掲載したホームページを作成し、職員に周知し、印刷費の削減を図る。(シートの必要な部分だけ印刷する方法、手早く縮小印刷する方法、すべてのページに同じタイトルを印刷する方法 等)	ムダな印刷を防止する方法については、簡単な操作であっても分からない職員も多くいることから、例えば、1枚に2ページや4ページ分を入れこむ縮小印刷は両面印刷と併せるとかなりの紙の節約になり、そうした操作を取りまとめ、周知することは、印刷費の削減が図れる。

※ 最優秀賞・優秀賞：該当なし